記　者　発　表　資　料
令和８年１１月２０日
環境生活部環境政策課
省エネ・再エネ推進班
担当：赤間、黒田
電話：022-211-2664
kankyoss@pref.miyagi.lg.jp

# 令和8年度 みやぎゼロカーボンアワード受賞者決定!!

「みやぎゼロカーボンアワード」は、脱炭素社会の実現に向けて顕著な功績のあった個人・団体を知事が表彰し、その優れた取組を広報することで、他への波及を図ることを目的とした表彰制度です。

このたび、令和８年度の受賞者（**最優秀賞１件**及び**優秀賞４件**）を決定しました。併せて、下記のとおり表彰式を開催します。

報道機関の皆さまにおかれましては、受賞者の取組について、広く情報発信いただくようお願いします。

## １　受賞者

| 区分 | 受賞者（敬称略） | 事績 |
|---|---|---|
| 最優秀賞 | 理研食品株式会社 | ・海水温の上昇など、海洋環境の変化に対応するため、ワカメの品種改良と室内での種苗生産技術を開発。<br>・成長時期の異なる品種の育成や安定した種苗供給により、ワカメ養殖の安定化と生産拡大に貢献。<br>・ワカメの生育に伴う $CO_2$吸収量の試算や、ブルーカーボンの定量評価に向けた研究にも取り組む。 |
| 優秀賞<br>（50 音順） | エトリアマニュファクチャリングジャパン株式会社　東北事業所 | ・トナー製造工程で使用した溶剤を回収・再生し、工場内や原材料の供給元で繰り返し利用する仕組みを構築し、$CO_2$排出量を削減。 |
| | 株式会社おてんとさん | ・農業者と連携し、水田の水を抜く「中干し」の期間を延長することでメタンの排出を削減し、J-クレジット制度の活用を推進。 |
| | ニチハ株式会社 仙台営業所 | ・国産木材を活用した外壁材の製造・普及と製品中に蓄えられた炭素量の算定・証明を通じて、建築分野の脱炭素化を推進。 |
| | みや木づかい・<br>国立大学法人宮城教育大学 | ・県産木材を使ったものづくりを学校の授業に取り入れ、教材の提供や教員への支援を通じて、森林や木材利用と環境との関わりを学ぶ機会を創出。 |

## ２　表彰式

（1）開催日　令和９年１月３１日（日）

（2）会　場　イオンモール新利府南館１F ライブスクエア

※環境イベント「**みやぎゼロカーボン大作戦**」内で実施します。

## ３　その他

受賞者の取組は、県の HP や SNS 等を通じて広報するほか、「気候変動アクション環境大臣表彰」 に推薦を行います。



▲昨年度の表彰式の様子

みやぎゼロカーボンチャレンジ2050 公式Web・SNS・アプリ

公式ポータルサイト　公式X（旧twitter）　公式Instagram　環境配慮行動促進アプリ ecoチャレンジみやぎ　宮城県

## みやぎゼロカーボンアワード　受賞者一覧

※敬称略、R4年度までは「宮城県ストップ温暖化賞」として実施

| 年度 | 受賞者 | 取組・活動等 | 備考 |
|---|---|---|---|
| R8 | **最優秀賞** | | |
| | **理研食品株式会社** | **・海水温の上昇など、海洋環境の変化に対応するため、ワカメの品種改良と室内での種苗生産技術を開発。<br>・成長時期の異なる品種の育成や安定した種苗供給により、ワカメ養殖の安定化と生産拡大に貢献。<br>・ワカメの生育に伴う$CO_2$吸収量の試算や、ブルーカーボンの定量評価に向けた研究にも取り組む。** | |
| | 優秀賞 | | |
| | エトリアマニュファクチャリングジャパン株式会社　東北事業所 | トナー製造工程で使用した溶剤を回収・再生し、工場内や原材料の供給元で繰り返し利用する仕組みを構築し、$CO_2$排出量を削減。 | |
| | 株式会社おてんとさん | 農業者と連携し、水田の水を抜く「中干し」の期間を延長することでメタンの排出を削減し、J-クレジット制度の活用を推進。 | |
| | ニチハ株式会社 仙台営業所 | 国産木材を活用した外壁材の製造・普及と製品中に蓄えられた炭素量の算定・証明を通じて、建築分野の脱炭素化を推進。 | |
| | みや木づかい・国立大学法人宮城教育大学 | 県産木材を使ったものづくりを学校の授業に取り入れ、教材の提供や教員への支援を通じて、森林や木材利用と環境との関わりを学ぶ機会を創出。 | |
| R7 | **最優秀賞** | | |
| | **日東電工株式会社　東北事業所** | **・Nittoグループ初の$CO_2$ゼロエミッション工場を東北事業所に竣工し、熱エネルギーの水素利用により燃料・電力の両面で脱炭素化を実現。<br>・工場内で液化水素から水素ガスを製造し、水素燃料100%のボイラーで蒸気を生成する国内初のシステムを構築。<br>・太陽光発電の余剰電力を活用したグリーン水素の製造・蓄エネにより$CO_2$排出量削減に貢献。** | 令和７年度気候変動アクション環境大臣表彰受賞 |
| | 優秀賞 | | |
| | 株式会社高速<br>※共同応募者（プロジェクトパートナー）<br>ベガルタ仙台／仙台市／株式会社Pyro／東洋スチレン株式会社／東商化学株式会社／一般社団法人未来のテレビを考える会／株式会社NTTデータ経営研究所 | ・ベガルタ仙台などと連携し、スタジアムで使用されるプラスチック容器を分別・回収してケミカルリサイクルにより再資源化するプロジェクトを実施。<br>・容器を分子レベルまで分解・再構成して食品容器やベガルタグッズとして再利用するなど、地域循環型社会の実現を目指す。 | 令和７年度気候変動アクション環境大臣表彰受賞 |
| | 株式会社馬渕工業所 | 未利用廃熱のエネルギーを活用した『オフグリッド型ORC発電システム』を開発。 | 令和７年度気候変動アクション環境大臣表彰受賞 |
| R6 | **最優秀賞** | | |
| | **株式会社東北バイオフードリサイクル** | **・飲食店等から排出される食品廃棄物をリサイクルし、バイオガス発電及び発酵残渣の全量肥料化の取組により、CO2排出量を削減。<br>・発電した電力を飲食店等に還元、さらに肥料で作られた農作物を飲食店等で利用する「ダブルリサイクルループ」を構築。<br>・そのほか、学校等で環境学習の支援にも積極的に取り組んでいる。** | |
| | 優秀賞 | | |
| | 兼松サステック株式会社　ジオテック事業部　仙台営業所 | ・住宅建築時の地盤補強材として木杭を利用する「環境パイル工法」を開発。<br>・セメントや鉄を使用する地盤補強工法から置き換え、間伐材を含む国産木材を使用することで、住宅建築時のCO2排出量を削減。 | 令和７年度気候変動アクション環境大臣表彰受賞 |
| | パナソニック株式会社　エレクトリックワークス社 | ・環境イベントへの出展や学校での出前授業などに取り組み、環境教育の取組を展開。<br>・オリジナルのカリキュラムや教材を活用し幅広い年代層が楽しく環境問題を学べる機会を提供。 | |
| R5 | **最優秀賞** | | |
| | **株式会社一の坊** | **・温泉廃熱利用、建物・設備の省エネ化、フードロス削減など、CO2削減に寄与する多方面の取組を展開。<br>・全社一丸となってPDCAによりCO2削減に取り組むシステムを構築。** | **令和６年度気候変動アクション大賞受賞** |
| | 優秀賞 | | |
| | 特定非営利活動法人ＳＣＲ | ・市民参加型で養蜂。<br>・環境指標生物であるミツバチをテーマとした出前講座・ワークショップを継続的に開催し、子ども達に環境保全の重要性を伝えている。 | |
| | 株式会社サカモト | ・事業活動において、植林や県産材利用に積極的に取り組んでいる。<br>・地域の団体と連携し、エネルギーの地産地消の実践と普及啓発を実施。 | 令和６年度気候変動アクション環境大臣表彰受賞 |
| | 株式会社築館クリーンセンター | ・焼却施設の廃熱を利用した農業用ハウスでコーヒー豆等を栽培してカーボンフットプリントを大幅に削減。<br>・本農業施設を就労支援施設の利用に供し、環境×農業×福祉の統合的向上に貢献。 | |
| | 東北ボーリング株式会社 | ・オープンループによる地中熱の導入、県産材(CLT等)の活用により、木造建築としては県内初のZEB化。<br>・県内外の見学者を積極的に受け入れ、ＺＥＢの普及啓発に尽力。 | |
| R4 | 大賞 | | |
| | **株式会社深松組** | **「複数熱（地中熱等）回収システム」導入による省エネ対策** | 令和５年度気候変動アクション環境大臣表彰受賞 |
| | 賞 | | |
| | 株式会社オイルプラントナトリ | 廃食油を活用した脱炭素に向けた取組 | |
| | 宮城県地球温暖化防止活動推進員コミュニケーターチーム | 環境出前講話による地球温暖化防止の普及啓発活動 | |
| | ヤマト運輸株式会社　新宮城主管支店 | ヤマト運輸株式会社　新宮城主管支店　SDGs推進委員会 | |
| R3 | 大賞 | | |
| | **株式会社学研スタディエ東北事業本部～あすなろ学院～** | **地元みやぎで学ぶ子ども達応援企画　～ミライ思考～　第１弾　気仙沼の海と山と人　小学生ＳＤＧｓ作文コンクール** | |
| | 賞 | | |
| | 株式会社宮城衛生環境公社 | 宮城県初の再エネ100宣言RE Action達成を目指して | 令和４年度気候変動アクション環境大臣表彰受賞 |
| | 南三陸少年少女自然調査隊 | かけがえのない地域の自然環境を守り伝える活動 | 令和４年度気候変動アクション環境大臣表彰受賞 |
| R2 | 大賞 | | |
| | **一般社団法人<br>持続可能で安心安全な社会をめざす新エネルギー活用推進協議会** | **地域を越えた中小企業連合による『新エネルギー』の活用に向けた技術開発等の取組** | |
| | 賞 | | |
| | 菊地　ひろ子 | 次世代へ今　私たちにできること<br>「家庭で身近に取り組める温暖化防止活動」 | |
| | 気仙沼地域エネルギー開発株式会社 | 漁業のまち気仙沼で木質バイオマス熱電供給事業に取り組む | 令和３年度気候変動アクション環境大臣表彰受賞 |
| | 有限会社千田清掃<br>代表取締役　千田　信良 | バイオディーゼル燃料で温暖化防止！ | |
| | 千葉　智恵 | 環境出前講座等の地球温暖化防止普及活動 | |
| R1 | 大賞 | | |
| | **一般社団法人日本キリバス協会<br>代表理事 ケンタロ・オノ** | **地球温暖化最前線国キリバス共和国をテーマとした<br>地球温暖化防止啓発活動** | 令和２年度気候変動アクション環境大臣表彰受賞 |
| | 賞 | | |
| | 農業生産法人株式会社ベジ・ドリーム栗原 | 余剰熱の再利用など環境配慮型の日本最大規模パプリカ農場運営による CO2 削減 | |
| | 白石蔵王エコフォーラム | 環境出前講座教育等の地球温暖化防止普及活動 | |
| | 栗原市築館生活学校 | 地球にやさしい暮らしのすすめ（ごみ減量とリサイクル） | |
| | 特定非営利活動法人環境エネルギー技術研究所 | 低炭素社会に向けた環境エネルギー技術に関する普及啓発活動 | |

みやぎゼロカーボンチャレンジ2050
NOW OR NEVER! 今しかない!

# 令和8年度 みやぎゼロカーボンアワード

## 候補者募集



宮城県では、2050年までに二酸化炭素の排出を実質ゼロとすることを目指しています。

その実現に向けて、顕著な功績のあった個人または団体を「みやぎゼロカーボンアワード」として表彰します。

そして、優れた取組の内容を周知し、本県における地球温暖化対策を推進します。

**募集期間** 2026 7/1(水) ▶ 9/25(金)
当日消印有効

## 対象分野

「みやぎゼロカーボンチャレンジ2050戦略」の取組項目
①家庭や事業所での省エネ活動
②再エネ設備や省エネ設備等の先進的な導入
③二酸化炭素の排出を低減する製品・技術の開発
④森林・海洋環境の保全
⑤３R＋Renewableの推進
⑥気候変動の影響による被害を回避・低減する適応策の導入・実践
⑦地球温暖化対策に関する普及啓発や環境教育

皆さまからのご応募をお待ちしております

みやぎゼロカーボンチャレンジ2050 公式Web・SNS・アプリ

公式ポータルサイト
公式X（旧twitter）
公式Instagram
環境配慮行動促進アプリ ecoチャレンジみやぎ

宮城県

令和8年度

# みやぎゼロカーボンアワード募集案内

**表彰対象者**

□宮城県内で地球温暖化対策に資する活動を行うもののうち、次の①から④に該当する個人又は団体
①宮城県内に住所を有する個人
②宮城県内に事業所又は事務所を有する団体（法人格の有無は問わない。）
③宮城県内の幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学、高等専門学校及び専修学校
④その他知事が特に必要と認めるもの
□宮城県内において上記①から④と共同で地球温暖化対策に資する活動を行う個人又は団体のうち代表者が上記①から④であるもの

**応募方法**

□応募用紙に必要事項を記入し、持参、郵送又はEメールにより下記の応募先へ１部提出してください。
（応募用紙は、県環境政策課のホームページからダウンロードできます。）
https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kankyo-s/zerocarbonaward.html ▶
※持参の場合：平日の午前9時から午後5時まで受付。　※郵送の場合：当日消印有効

□自薦・他薦を問いませんが、他薦の場合は被他薦者の承諾を得た上で推薦してください。

**応募・問合せ先**

宮城県 環境生活部 環境政策課　省エネ・再エネ推進班
〒980-8570　宮城県仙台市青葉区本町三丁目8番1号
電話　022-211-2664　Eメールアドレス　kankyoss@pref.miyagi.lg.jp

## Q&A

**Q 受賞者はどのように決定されますか？**

**A** 有識者等による選考会を開催し、「最優秀賞」及び「優秀賞」の受賞者を決定します。

**Q 受賞するとどのようなメリットがありますか？**

**A**
・環境イベント「みやぎゼロカーボン大作戦」内で表彰式を開催し、賞状と楯を授与します。
・上記イベントや、県のHP、SNS、広報誌、パネル展示等で、取組を広く紹介するほか、受賞者には継続してPRの場を提供します。
・環境省が実施する「気候変動アクション環境大臣表彰」へ県が推薦を行います。

## 過去の受賞者（敬称略）

### 令和7年度受賞　日東電工株式会社 東北事業所

**$CO_2$ゼロエミッション工場の取組**

自家再生可能エネルギーを最大限に活用した$CO_2$排出量ゼロの新工場を整備。太陽光発電によるグリーン水素製造や、液化水素から水素ガスを製造し、水素燃料100%のボイラーで蒸気を生成する国内初のシステムを構築。見学受入れやセミナー等による普及啓発にも積極的に取り組む。




### 令和6年度受賞　株式会社東北バイオフードリサイクル

**食品リサイクルによるカーボンニュートラル実現に向けた取組**

飲食店等において、食品廃棄物のメタン発酵による発電を利用する「電力リサイクルグループ」や、副産物による肥料を使用した農作物を利用する「農業リサイクルグループ」を構築し、大幅な二酸化炭素削減を実現。環境学習の支援にも積極的に取り組む。




### 令和5年度受賞　株式会社一の坊

**限りある地球資源を大切にする温泉宿のSDGsへの取組**

温泉廃熱利用、建物・設備の省エネ化、フードロス削減など、二酸化炭素削減に寄与する多方面の取組を展開。全社一丸となってPDCAサイクルにより二酸化炭素削減に取り組むシステムを構築。

